

令和 3年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input checked="" type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	長野 森井
全体計画		平成30年度	～	令和 2年度	経費区分			—		内線	3254
事務事業名	14638 小規模水道施設整備事業										
所 属	121000 市民環境部・生活環境課										
施 策	16023200 水環境の保全と水道水の安定的な供給										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	040301 衛生費・水道費・水道費									
	事業	980000 小規模水道施設整備事業									
事業目的						事業概要・効果					
峰の原地区の住民に安心して安定的な水を供給する。						<ul style="list-style-type: none"> ■峰の原高原内の(株)守谷商会別荘地区の水道事業について、平成31年4月1日より「須坂市峰の原高原飲料水供給施設」として市営化による運営開始 ■H30 - H31実施設計業務委託 ■H31 - R2水道施設設備更新工事 					

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ■仮配管設置・送配水管布設替・配水支管布設替・高区配水池築造・水源原水受水槽及び送水ポンプ室築造・機械電機計装設備工事 計385,733千円 ■積算監理業務負担金（水道局） 9,900千円 	
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和2年度 決 算	令和3年度 予 算
事業費		395,633	0
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	319,800	0
	その他	0	0
一般財源		75,833	0
人員数(人)	正規職員	0.6	0.0
	嘱託職員	0.3	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	4,180.8	0.0
	嘱託職員	944.7	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	5,125.5	0.0
市民一人当たりの経費		7.7	0.0
総額		400,758.5	0.0

(単位：千円)

令和2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	385,733	
18節 負担金補助及び交付金	9,900	積算監理業務負担金(水道局)
その他	0	

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	老朽化した水道施設設備を更新し、区域内住民への将来に亘る安定給水の維持確保を図る。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	現行設備の更新ではなく、水道管を耐震化対応のものに更新、配水池の構造をRCからステンレス製にするなど、今後の維持管理メンテナンスを考慮したものにし、新規に残留塩素計測装置等を設置して遠隔で確認できるものとした。工事方法も仮配管を組み隣接する市水道から分水による水の提供を受けることで、工事期間中の安定給水の確保が出来て工事期間の短縮を図った。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 辺地対策事業債を活用。 水道施設設備の更新に際し、配水池の容量やポンプの大きさを使用現況に応じた規格に縮小するなど、適正規模の施設設備に更新した。 	

振り返り（決算年度の取組み課題）

<ul style="list-style-type: none"> 民間水道事業の市営化に伴う老朽化した水道施設の更新工事について、辺地債を活用し、2019（H31）年度からの債務負担行為による5工事と2020（R2）年度で機械電機計装設備工事が全て無事に完了し、2020（R2）年11月19日に「しゅん工式」を開催し、新施設による給水を開始することができた。 市役所から遠距離に位置する水道施設を維持管理するため、クラウドによる遠方監視システムを導入し、給水残留塩素濃度、井戸や配水池の水位、ポンプ運転状況などを市役所パソコンや職員スマホで確認できるものとした。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	統合・終了	次年度以降の方向性	統合・終了
総合評価コメント		2次評価コメント	
完了		完了	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	